

暮らし・にぎわい再生事業計画（第1回変更）

五日町地区

平成29年9月

宮崎県小林市

1. 再生事業計画区域

①計画区域の位置

宮崎県小林市細野字五日町 1 8 9 7 番地

②計画区域の面積

約 0. 3 ha

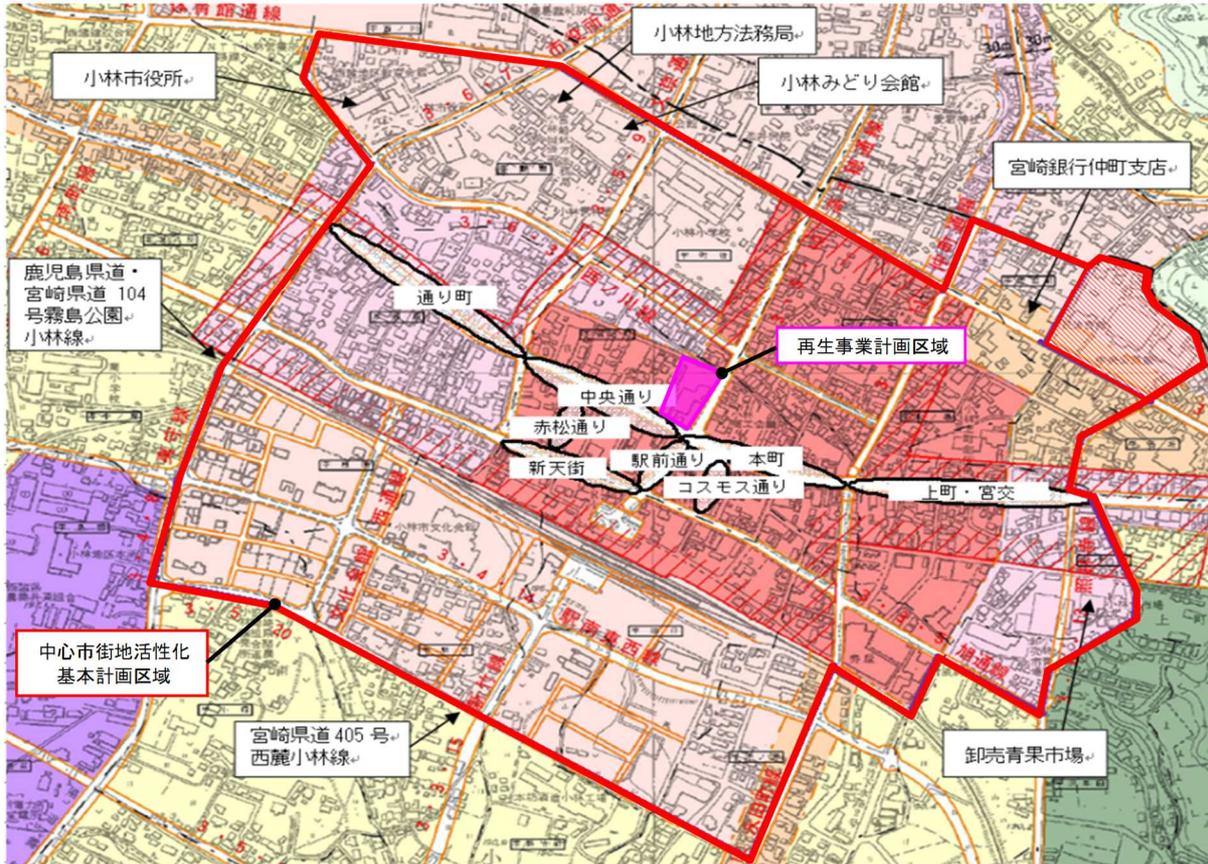
③区域設定の考え方

当地区は、小林市中心市街地活性化基本計画区域の中心に位置し、小林駅北側を東西に通る国道 221 号線沿いに形成される商店街の中央付近に位置する。当地区一帯は、市役所をはじめ国や県の出先機関や金融機関、医療機関、商業施設が集積し、市民はもとより宮崎県西諸県圏域の生活拠点としての役割を果たしてきた。

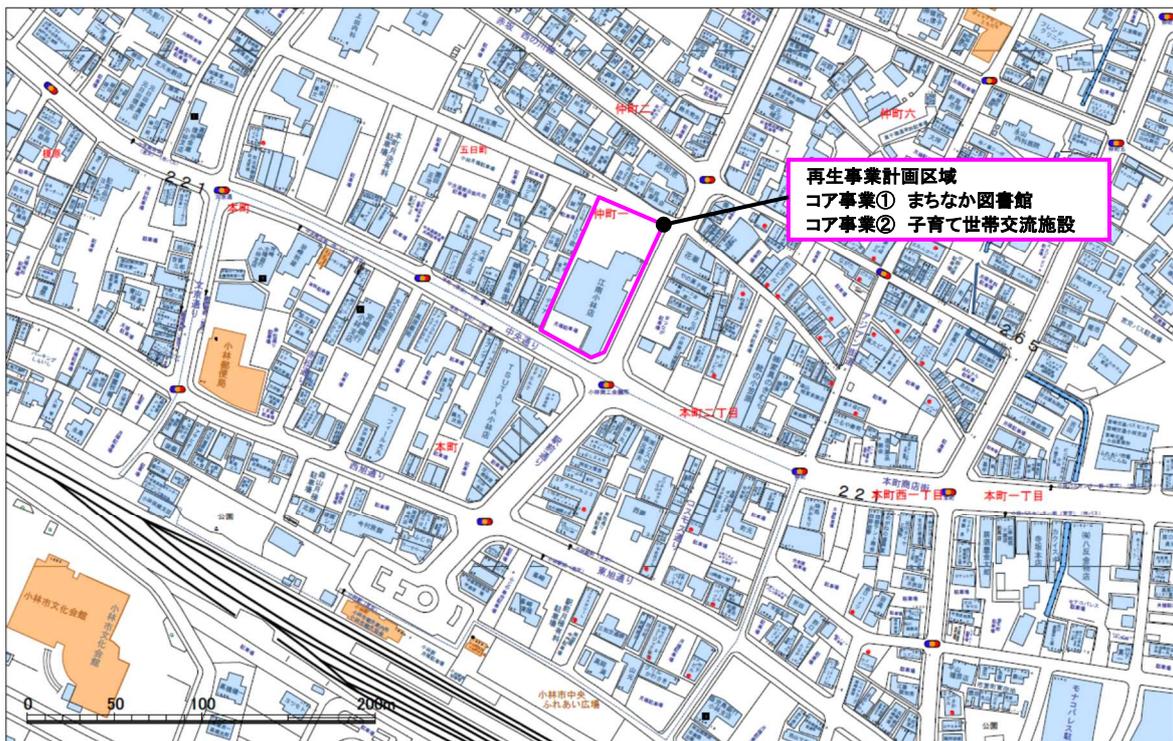
また、当地区にあったスーパーマーケット「江南」は長く市民に親しまれ、中心市街地地域の集客拠点でもあったが平成 25 年 7 月に閉店となり、周辺商店街の空き店舗の増加も相まって、中心市街地全体の賑わいが失われつつある。

そこで、当地区では暮らし・にぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援により、まちなか図書館や子育て世帯交流施設を整備し、中心市街地の利便性向上に努め集客力を高めるとともに、移動手段の少ない高齢者等の買い物不便を解消するための商業施設及び子育て世代をはじめとした若年世代も暮らしやすい環境整備のための賃貸住宅機能を持った複合ビルを建設し、失われつつある当地区周辺の賑わい創出、周辺商店街への回遊性の向上を実現し、中心市街地の活性化を図るために計画区域を設定した。

【位置図】



(計画区域の拡大図)



2. 総事業費

約 6 5 8 百万円

3. 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

<p>1) 再生事業計画区域が抱える課題</p>	<p>・ 商店街区域の集客施設でもあったスーパーの閉店による歩行者通行量の減少及びにぎわいの低下。</p> <div data-bbox="606 555 1366 696" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>中心市街地（4地点合計）の休日歩行者通行量 平成 17 年 1,174 人 → 平成 26 年 876 人 298 人減（約 25.4%減）</p></div> <p>・ 周辺地区の少子高齢化に対応した生活利便性の向上や子育て世代等の若年世代のまちなか居住の推進。</p> <div data-bbox="606 837 1366 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>中心市街地の年齢別人口 平成 17 年 総数 7,140 人 ※高齢化率 約 26.3% [~14 歳]994 人 [15~64 歳]4,268 人 [65 歳~]1,878 人 平成 26 年 総数 6,883 人 ※高齢化率 約 30.9% [~14 歳]893 人 [15~64 歳]3,866 人 [65 歳~]2,124 人</p></div>
<p>2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設（箇条書きで記載）</p>	<p>【整備する予定の都市機能導入施設】</p> <ul style="list-style-type: none">・ まちなか図書館・ 子育て世帯交流施設
<p>3) 都市機能導入施設の整備効果</p>	<p>中心市街地に多くの市民が利用できる図書館や子育て世代が利用できる交流施設を整備することにより、賑わいの増加や周辺商店街区域の活性化が図られる。</p> <p>また、都市機能導入施設と併せて整備予定の商業施設や賃貸住宅の整備によって、中心市街地の利便性向上や居住推進が図られる。</p> <div data-bbox="606 1648 1366 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>中心市街地の休日歩行者通行量（成果目標） 平成 26 年 876 人 → 平成 29 年 1,612 人</p></div>

4. 都市機能導入施設及び公開空地等の整備計画の概要（全体概要）

【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助種別	補助区分	公益施設の種類 (注1)	事業期間
①	まちなか図書館	コア事業	都市機能まちなか立地支援	地域交流施設	H28-H29
②	子育て世帯交流施設	コア事業	都市機能まちなか立地支援	地域交流施設	H28-H29

(注1) 公益施設の種類は、暮らし・にぎわい再生事業制度要綱第2条三に定義される「社会福祉施設」「地域交流施設」「教育文化施設」「医療施設」「その他（その他地域住民等の共同の福祉又は利便のために必要な施設で、多数の者が出入りし利用することが想定される施設）」のうちから選択すること。

※コア事業、附帯事業、その他関連事業（まち交等）ごとに記入すること。

※位置が分かるように、番号を別添1の図面に記載すること。

【事業スケジュール】

番号	H28	H29	H30	H31	H32
①	実施設計 -----				
②	敷地造成 ——	建設工事 —————			

(※計画作成時以降のスケジュールについて、記載すること)

5. 整備計画に従って行われる主要な事業の概要（個別）

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	まちなか図書館	事業期間	H28-H29
補助種別		コア事業		補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数		地上5階 (うち2階の一部)		構造	耐火構造
敷地面積 (㎡)		3,477.82 ㎡		延床面積 (㎡)	312.61 ㎡
施設用途 (都市機能導入施設の概要)					
地域交流施設					

番号	②	施設名	子育て世帯交流施設	事業期間	H28-H29
補助種別		コア事業		補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数		地上5階 (うち2階の一部)		構造	耐火構造
敷地面積 (㎡)		3,477.82 ㎡		延床面積 (㎡)	338.55 ㎡
施設用途 (都市機能導入施設の概要)					
地域交流施設					

6. 提出参考資料

- ・ 中心市街地活性化基本計画書の写し